

## 全日本合唱コンクール全国大会に出場し、銅賞受賞！

11月20日(日)、富士通川崎合唱団は、青森市文化会館において開催された「第64回 全日本合唱コンクール 全国大会」に出場しました。



ステージ後の集合写真

### 【全日本合唱コンクールとは】

全日本合唱連盟・朝日新聞社の主催で、毎年秋に開催される、全国のアマチュア合唱団が演奏を競い合うイベントです。中学部門/高校部門/大学部門/職場部門/一般部門の各部門ごとに、県大会・支部大会(私たちの場合には関東大会)に勝ち残った合唱団が全国大会に出場することができます。全国大会の審査結果は金/銀/銅の各賞、および厚生労働大臣賞などの特別賞となります。

今年度の私たちの演奏内容は次の通りです。

### 【演奏内容】

#### ■ 曲目:

#### [課題曲]

<G1>O quam gloriosum (ああ、なんと栄光にあふれていることか) 作曲: Jacobus Vaet

#### [自由曲]

Laudate Dominum(主をほめたたえよ) I、II、III 作曲: Vagn Holmboe

#### ■ 指揮: 加藤雅子

【全国大会成績】

★銅賞受賞

【レポート】



青森といえば・・・迫力のねぶた



ちょっとうれしい歓迎看板

ユニオンビルでの練習後、本番前夜に青森入りした私たちを、青森駅で「ねぶた」と「全日本コンクール 歓迎」の看板が出迎えてくれました。

今年の全国大会は青森での開催で、今回の職場部門では、ここ数年1位・2位を独占している関西支部代表のパナソニックさん、住友金属さんや、以前合同で演奏会を開いたこともある東京支部代表の日立さんを含む全国の職場合唱団10団体で競い合いました。私たちもすでに9月の神奈川県大会(横浜)、10月の関東大会(横須賀)での演奏の経験を重ねてきましたが、全国の優れた合唱団に並んで演奏するのはやはり緊張します。昨年まで5年連続で全国大会に出場していずれも銅賞受賞となっていましたので、今回はもっと上の賞を狙う気持ちで臨みました。



会場近くのホテルで朝の練習

出番が午前中のため、この日は早朝に宿泊先から練習会場の青森市中心部のホテルに移動。天気予報ではこの日は最低気温2度で雨のち夜は雪とのことだったので、寒さは覚悟していましたが、朝から実際に時々雨が降って肌寒く、やはり関東にいるよりもひときわひんやりした空気を感じながら青森の街を歩きました。2時間ほどみっちり準備体操・発声練習および曲の練習を行ったあと、みな緊張した面持ちでコンクール会場の青森市文化会館に向かいます。



街路樹が色づく青森の街を移動



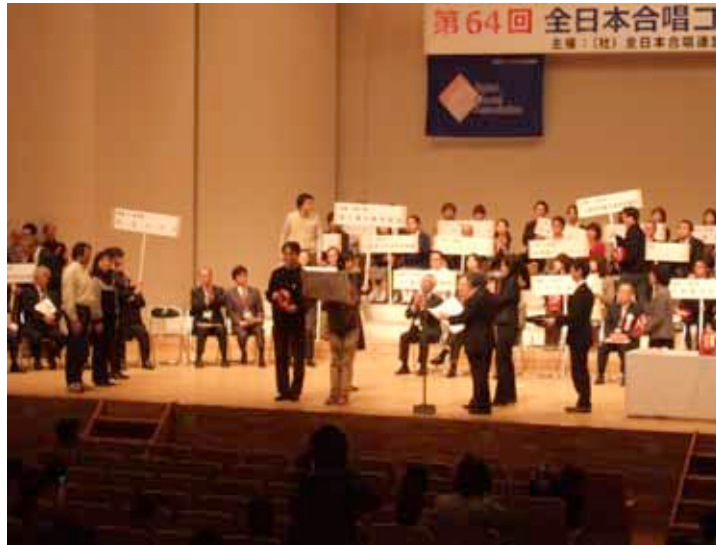
会場の青森市文化会館に到着

青森市文化会館の彫刻や絵画が並ぶ荘厳なロビーをくぐり、着替えおよびリハーサル室での練習の後、舞台袖で聞こえてくる前の出場団体の素晴らしい演奏にプレッシャーを感じながら演奏本番を迎えました。

演奏する曲は、課題曲、自由曲とも無伴奏でラテン語で歌われる宗教音楽。課題曲はルネサンス期のフランドルの作曲家ファートの作品、自由曲は現代のデンマークの作曲家ホルンボーの作品です。2000人収容大ホールのお客様の拍手に迎えられて演奏開始。ふだんの練習場所で歌うのと、大きなホールで歌うのとでは音の響きがたいぶ違うので戸惑いはあったものの、平常心を保つよう意識して演奏を始めました。課題曲はわりと静かで落ち着いた曲調。さわやかなハーモニーを聴かせられたという満足感とともに歌い切りました。次の自由曲は、大きな音量で迫力ある冒頭部分で1曲目が始まり、2曲目は静かに、3曲目はふたたび元気な曲調。緩急つけた表現力を発揮し、合わせて約10分の演奏が終わりました。

私たちの出番終了後は、一般部門の出場団体の演奏を鑑賞。レベルの高さに感服して、我々ももっとレベルを上げなくてはと決意を新たにしました。その後休憩をはさんでついに審査発表。当合唱団の成績はいかに・・・。

期待半分、あきらめ半分、ドキドキしながら迎えた審査結果は、昨年までと同じく銅賞でした。第1位に相当する厚生労働大臣賞はパナソニックさんが受賞し2連覇。まだまだ上位入賞の壁は厚いと感じました。ただ、昨年より団員も増えてハーモニーの厚みが増し、各個人の技量も向上したことで、格段に質の高い演奏を届けられたように思います。



表彰式で銅賞の楯と賞状を受領した富士団長ら



銅賞の賞状



当日のプログラムと銅賞の盾

来年の全国大会は富山市で開催される予定です。来年また全国大会に出場し、もっと良い結果が得られるよう日頃の練習に精進する所存ですので、今後ともご声援いただきますようお願いいたします。また戦力アップのため、合唱に興味のお持ちの方は是非奮って入団いただき、私たちと一緒に全国大会で金賞を目指しましょう！

【記事・写真提供：富士通川崎合唱団 (テナー) 大谷寿巳】